

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~3日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	5	9	5	5	13
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	13	18	10	16 (20)	14
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	2	2	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	2	1	2	1	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	1	1	1	1 (2)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	6	7	4	3	2

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第9週(2月26日~3月3日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1	3	2		3	2	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	0	発生なし	0							
五類	10	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	1	1						
		梅毒	6			1		4	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり16.44人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が21件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

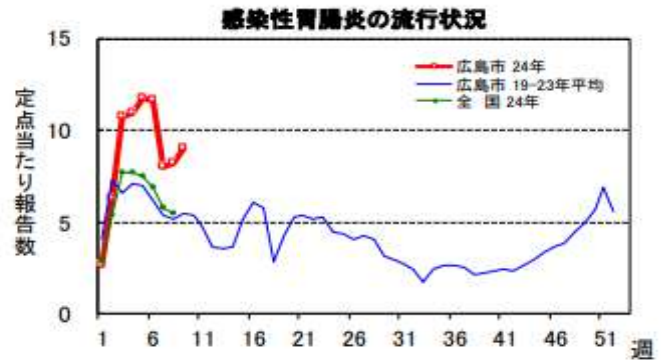
定点当たり3.36人の報告があり、減少傾向が続いています。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり9.00人の報告があり、多い状況が続いています。1月以降に感染性胃腸炎の集団発生が7件報告されており、そのうち6件がノロウイルスによるものでした。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

4 梅毒

4件の報告があり、今年の累計は19件となりました。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	592	16.44	4.40		↗	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05		
	新型コロナ(COVID-19)	121	3.36			↘		流行性耳下腺炎	-	-	0.09		
小児科	RSウイルス感染症	12	0.52	0.35		↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	咽頭結膜熱	22	0.96	0.24		↗		流行性角結膜炎	10	1.25	0.25		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.65	1.38		↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	207	9.00	5.46		↗		無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	1	0.04	0.17				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11		
	手足口病	11	0.48	0.12				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.20				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		
	突発性発しん	3	0.13	0.15									

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	13	70歳代・1人、80歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	20歳代・O26
5	ウイルス性肝炎	1	1	20歳代
5	梅毒	4	19	20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2	50歳代